

秩父市のスマートシティ関連事業

	地方創生推進交付金 (Society5.0タイプ) 事業	デジタル田園都市国家構想推進交付金 (デジタル実装タイプType2) 事業
事業名	秩父市移動支援プロジェクト	秩父市・横瀬町スマートモビリティによるエコタウン創造事業
事業主体	秩父市	秩父市・横瀬町
協議会名	秩父市生活交通・物流融合推進協議会	秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会
事業年度	R2～R6年度 (5年間)	R4年度 (次年度以降も継続予定)
対象地域	秩父市大滝地域	秩父市・横瀬町
実装サービス	ドローン配送 (平時・災害時) 遠隔医療 物流MaaS	災害時ドローン配送 AIデマンド交通 観光MaaS
データ集約・連携	秩父ダッシュボードシステム	秩父ダッシュボードシステムへ連携に加え、データ連携基盤への接続

秩父市・横瀬町スマートモビリティによるエコタウン創造事業

山間地域における人とモノの移動の課題を解決

R4年度実施



【テーマ】
広域連携で持続可能なスマートタウン！

- ①災害時のドローン配送
- ②AIデマンド交通のエリア拡大
- ③観光MaaSによる需要増
- ④広域連携によるマネタイズ改善

【本提案のポイント】

ポイント①：広域連携

運営も含めて広域連携することで、山間地域における持続可能な社会実装の仕組みを構築

ポイント②：地域間データの連携

地域間のデータを連携することで、ユーザーも地域の垣根を超えたサービス利用が可能に。

ポイント③：脱炭素社会の実現

各種モビリティでの移動を最適化することで、移動に関連する無駄を省き、脱炭素社会を目指す。

ポイント④：複数事業の相乗効果※

地方創生推進交付金(Society5.0タイプ)

1. ドローン配送
→山間地での配送や災害時の支援
 2. 遠隔医療
→ICTを活用した医療支援
 3. 物流MaaS
→共同配送、貨客混載による物流の効率化
- 上記事業との相乗効果により、地域内でのヒトとモノの移動を総合的に効率化

連携

連携

連携

秩父ダッシュボードシステム
(Society5.0事業で構築済)



Location Data Security Platform (仮)

先端サービスとデータ連携
(位置情報補正、データ秘匿処理、情報流通)

共同でのサービス管理 (横瀬と秩父のデータとシステムを連携)

連携



データ連携基盤

連携

広域連携で
マネタイズ
改善

秩父市



…他



他…

横瀬町

※別事業：
地方創生推進交付金事業
(Society5.0タイプ)

山間地域（大滝地区のみ）での
主に物流ネットワーク及び遠隔
医療のモデル構築



秩父市・横瀬町スマートモビリティによるエコタウン創造事業

【本事業における主な3つの取組(サービス構築)】

①ドローンによる緊急物資配送

- ・ Society5.0大滝モデルの横展開
- ・ R4年度：横瀬町1ルート、秩父市内1ルート設定



大滝地区ドローン
配送実証の様子

②AIによるデマンド交通

- ・ 横瀬町内⇔秩父市内停留所を増加(現状3か所から + α)
- ・ 秩父市内でのエリア拡大(横瀬町との共同体制化)
- ・ 観光客も利用できる仕組みづくり(観光ニーズの取り込み)

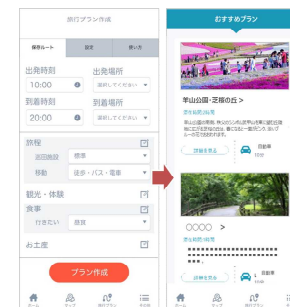
AIデマンドタクシー
：未来シェア

画像引用元：SERVICE |
株式会社未来シェア
(miraishare.co.jp)



③観光MaaS

- ・ 観光 & 交通の経路検索システムの構築・デジタル企画券
(鉄道・路線バス・デマンドタクシー・レンタサイクル・観光施設・
観光スポット・札所・クーポン等が集約・効率化された検索アプリ)



【例】観光MaaS

※画像はイメージ

【運営体制】

秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会

会長：秩父市長 副会長：横瀬町長 学術機関：早稲田大学 支援機関：本庄早稲田国際リサーチパーク
民間事業者：ゼンリン、三菱総合研究所、楽天グループ、西武ホールディングス、未来シェア、秩父タクシー協会、
アズコムデータセキュリティ、秩父商工会議所 等

アーキテクトチーム

【リードアーキテクト(学)】

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科
教授 小野田 弘士

【アーキテクト(官)】

秩父市 市長 北堀 篤
横瀬町 町長 富田 能成

【アーキテクト(産)】

株式会社ゼンリン スマートシティ推進部
部長 深田 雅之

外部評価委員(予定)

ちちぶ定住自立圏共生ビジョン懇談会
都市OS・データ連携基盤有識者

オブザーバー

皆野町、長瀬町、小鹿野町、本庄市、
さいたま市、埼玉県